

平成 27 年度秋にモニター受講された方々にインタビュー調査させていただきました！

受講者の

声



参加動機

体系的に学べる 情報交換できる人脈作り

このプログラムは、ディスカッションが多いと聞いていたのでぜひ参加したかった。
(商社 業務部主任)

現在海外子会社の管理・サポート業務を担当しているので、逆の立場から海外子会社の経営者に必要な能力や役割を勉強したいと思った。
(商社 経営企画部長代行)

プログラムが終わっても情報交換ができる人脈を作りたいかった。(製造業 経理課)

どういった勉強が必要なのか、どんなレベルで勉強できるのか、社長として知っておくべきだと考え受講を決めた。
(商社 代表取締役社長)

タイ現地法人に、駐在になる可能性があった為。説明会に参加して自らプログラム参加を決めた。自社では、海外赴任の際の研修は特にない。
(商社 営業部)

受講の成果

考える手法、 考え方の多様性が学べた

授業としてはシンキングチャートがよかった。非常に分かりやすかったし、合宿のときにグループでやり、発表もあつたので非常に勉強になり、いろいろ使っている。
(製造業 営業部部长)



2015.5.23～24 集中合宿授業
「演習(ケーススタディ)」

考え方の多様性が学べた。数少ない同世代の人達にも刺激をもらった。普段聞かれない経営者の話が聞けたのは大きかった。
(商社 営業事務)

海外子会社の経営者として、新たな視点で会社の運営を考えられた。色々な講義、他の人々とのコミュニケーションを含め実践的な知識や考え方を学べた。(商社 総務課長)

異文化コミュニケーション、デザインなども含めて海外だけでなく国内で仕事をすることでも思考方法のノウハウとして、会社に還元できるものだと思った。
(製造業 総務課長)

日本で海外の事業会社を見る側にとつても、必要に役立つプログラムだと強く思った。故海外ではそうなるのかを再確認できた。「異文化コミュニケーション」のテキストを利用させてもらっている。
(商社 経営企画部長代行)

考えるための手法を教わり仕事に活かし問題をあぶりだして解決に至った。海外の文化背景を学び、日々のコミュニケーションの中で一歩引いて考えるきっかけになった。
(輸入販売商社 総合管理部)

「ASEAN 経済」は、サプライチェーンの話で非常によかった。(商社 営業部)

自分の考え方が変わった

今までは、「会計は経理・総務でやればよい」という考えで、人に任せていた。プログラムでの勉強後は、細かい計算ではない会計の全体像が見え、会計担当者へも意見をいえるようになった。経営者としての視点で見られるようになった。大学の先生の話の方が、学問としての厚みがあつてよい。(建設業 取締役)

改めて、マネジメント、地域の文化、海外に焦点を当てた専門的教育、基礎理論を学ばせないといけないと感じた。
(商社 人事課長)

実務家の先生の、リーダーシップの取り方や発言の仕方考え方などの話を聞き、自分の考え方も変わった。部下の前での振る舞いなども気を付けるようになった。
(商社 営業部長)

学ぶ意欲ができた

自分の中で経営がイメージできるようになったことが大きい。(製造業 営業部長)

宗教・会計・経営・人事のこと等、幅広い知識を得られ経営者になるためには必要なことだと再認識し、非常に勉強になった。
(製造業 海外事業企画部次長)

個人として一番大きいのは受講生の皆さんの人脈。(商社 30代)

大学の先生の授業の方が私達にとつては役に立つかもしれない。(製造業 管理本部主任)

ひきだしが増えたと感じる。
(製造業 営業部長)



2015.10.24 ASEAN 経済③④



2015.7.4 企業会計①②



2015.10.24 異文化コミュニケーション①②

教育プログラムの概要

本プログラムは、3段階の体系的性を有しています。具体的には、「実践基礎教育プログラム」は、実務家教員等による演習・講義であり、海外におけるマネジメントの基礎を学習します。「専門教育プログラム」は、大学教員による専門的な講義であり、グループワークやディスカッションも取り入れることにより、教育効果の高い授業を行います。「実践応用教育プログラム」では、実務家教員等による演習であり、経営者の視点・考え方を学びます。

START → 半年1クール → GOAL

履修証明プログラム※

実践基礎教育プログラム

6科目 42時間

- ◇ 異文化コミュニケーション ◇ 経営戦略
- ◇ 経営者のためのシンキングチャートの活用
- ◇ マーケティング戦略 ◇ 組織・運営戦略
- ◇ 子会社経営で直面する課題

専門教育プログラム

12科目 72時間

- ◇ グローバル経済 ◇ ASEAN 経済 ◇ ASEAN 発展論
- ◇ ASEAN 法律制度 ◇ ASEAN の地理・歴史
- ◇ 日本的経営思想 ◇ ASEAN の華人ビジネス
- ◇ 企業会計入門 ◇ ASEAN の宗教・文化
- ◇ 国際租税法入門 ◇ 管理会計入門 ◇ 会計情報の利用

実践応用教育プログラム

7科目 48時間

- ◇ プレゼンテーション・スキルとその活用
- ◇ 海外事業体(子会社)における経営者の役割・コンプライアンス体制
- ◇ グローバル企業の人材育成
- ◇ 海外子会社の経営者として必要な能力
- ◇ 経営者の戦略的役割 ◇ 海外派遣者のストレスマネジメント
- ◇ 子会社経営で直面する課題 - 人事労務政策 -

※履修証明プログラムとは、社会人等の学生以外の者を対象とした特別の課程で、体系的な知識・技術等の習得を目指した教育プログラムで、目的・内容に応じ総時間数 120 時間以上で設定されています。プログラムの修了者には、学校教育法に基づく履修証明書を交付します。

授業設計

初心者だが課題に取り掛かりやすかった

反転授業がよかった。税務はワールド自体がすごく広いと思うが、授業のターゲットを決めて、焦点を絞って話されていたので、全く初心者だが課題にも取り掛かりやすかった。
(製造業 経理課)

社会人になってからは予習して研修等に臨む機会がなかったが、事前に内容を聞き課題が出ると、集中して聴き、課題に取り組み、非常に良いと思う。
(製造業 営業部長)

受講料を支払って参加するというのであれば、予習↓対面授業↓復習という流れはよいと思う。
(製造業 グローバルグループ統括部主事)

知識の定着ができた

始めに反転を観るだけでも予備知識が入ってくる。インターネットで講義内容を調べると、事前準備ができる。いつでも自分の好きな時間に視聴できるのも良い。
(商社 総務課長)

対面授業：対面の録画もあるのがよかった。授業でわかったつもりでも、見返すと「あれ？」というところもあり、反転・対面・更に復習の映像という流れで、知識の定着ができた。
(製造業 調達部グループリーダー)

映像として見ることは、意欲的に学ぶ助けになる。反転授業から対面授業への接続もスムーズであった。各受講者が1テーマで自分の考え・実体験を発表したのは勉強になった。
(製造業 管理部長)

授業設計 (ブレンディッド学習の狙い)

効率的・効果的な学習を保障するため、対面授業とe-learningを組み合わせ、双方の利点を活かした授業設計を行っています。知識の習得や復習はe-learningで行い、思考を深めるディスカッションやプレゼンテーション等インタラクティブな学習は対面で実施します。

①事前事業 (e-learning・反転授業)

ICTを活用して事前に30分程度の反転授業を受講し、課題を行って、必要な知識を習得したうえで授業や演習を受講

授業の構成

③復習 e-learning (ビデオ授業)

講義収録・配信システムを活用し復習等のためにビデオ授業を整備



e-learningの様子

②スクーリング (集中授業含む)

実務家教員によるグループディスカッションを中心とした「海外事業体(子会社)における経営者の役割」の開講週末を利用して集中授業を実施



スクーリングでのグループワークの様子

実務への活用の可能性

今までの視点ではないところで自社を見られるようになった

今は、上の立場の人々との関わりができて、物の見方が変わってきた。どのような視点で物事を考えているか、どのような考えで自社の事を思っているかなど、意見を聞こうと思えば取り組んできた。今までの視点ではないところで、自社を見られるようになった。自社の社長と関わる機会にもなった。
(商社 営業事務)

社会人になってからの方が、勉強への意欲は高まっている。自社は規模が小さく若い自分も、上の役職についている。自社に海外赴任の為に研修プログラムはない。社内で研修プログラムにも携わっていききたい。
(製造業 管理部長)

今回学んだことは、台湾の駐在員に指導することなどで、実務に使うことも学び直せると思う。本社・国内子会社、海外子会社において、経営者としての視点で業務にあたることで、今までと違った施策の提案をしたいと思う。
(商社 総務課長)



2016.5.21 海外子会社における人事労務政策①②③

考え方の枠組みを学べてよかった

実際の教育プログラムとして、「経営者としての心構え」「異文化関係」は過去の責任者と話し合っ、候補者に対してのプログラムに使ってほしい。会計・税務は自分が実務で一番携わっているところであり、資金繰り、他の子会社間との取引のプランニングについての見直しに活用できるなど、自分にとっては何の授業も無駄ではなかったと思う。
(製造業 総務課長)

【シンキングチャートの活用】がよかった。シンキングチャートの技法を、別の科目で活用したのは非常によかった。習ったものをすぐに使う機会があったのは、よい形だと思う。
(商社 原料部課長)



2015.11.14 経営者のためのシンキングチャートの活用①②

プログラムを通して知らなかったことに気づかされた

考え方やフレームワークだとか普段の授業で使っている。頭の回転はどんどん速くなるのではないかと。週一でもこういう新しい知識をどんどん入れていけば、視点は上がっていくと思う。
(商社 30代)

グローバル視点での税務、税負担・税制について考えなければならぬという、意識の変革にはつながった。
(商社 製品部課長)

税務：グローバルタックスマネジメント、脱税ではない企業運営が活かせると思う。国の特徴に基づいた例を知りたい。
(商社 代表取締役社長)



2016.2.27 税務①②

海外へ行かなくても考え方が変化した

海外へ行かなくても、考え方が変化したと認識している。実行できるかどうかは分からないが、今までは別の考え方・視点を持って取り組めるという期待感がある。ケーススタディでは、知ること自信へと繋がった。プログラムを通して、知らなかったことに気付かされたことが一番大きかった。
(商社 営業部長)

日本から派遣させる側にも受講させたい

社内には研修システムはない。総務・財務関係者、日本サイドから人を派遣させる側にも受講させたいと思う。
(製造業 営業部課長)

実際に、帰ってきた人間に「これを受けるように」と指示している。事業の継続のために、交代させてでも帰らせ受けさせている。
(製造業 代表取締役社長)

社会人が受講しやすい環境整備

【時間的制約】 授業を平日夜間・土曜日に実施

【場所的制約】 東京・大阪駅近辺での開講

【欠席者への配慮】 講義収録・配信システムによる授業配信